

つなかしかわら版

～第2号～



つなぐ人カレッジ～2014～第2回『参加の手法を学ぼう』

日時：平成 26 年 11 月 8 日（土）
場所：金華公民館
講師：蒲 勇介さん

いいね！パネル作成☆



目標：ワークショップの苦手感を克服する。
聴くことの重要性の認識。
様々なワークショップの方法を理解する。

◆岐阜のまちづくり事例紹介～リビングライブラリー～

地域で活動されている 3 団体の方から、本を読むようにその事例について話していただきます。聞き終わったら「なるほど！」と参考になったことを付せんを書いて渡しました。

井の口のお宝は〇〇だった



「お宝展」で、あらためて感じた地域の絆。“まちを想う人”こそが宝だ！

みどりっこバスの誕生！

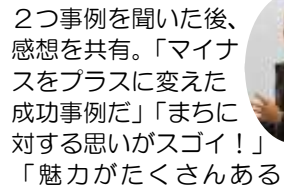


コミバス内で井戸端会議。中学生もヘルパーとして参加し、様々な活動が展開

柳ヶ瀬ザウルスの足跡



コミュニティよりもネットワーク。ボランティアには価値ある体験・経験を！



2つ事例を聞いた後、感想を共有。「マイナスをプラスに変えた成功事例だ」「まちに対する思いがスゴイ！」「魅力がたくさんあるまち、ぜひ行きたい」もっとじっくりと聞きたかった～。

◆講義「参加の場のコーディネート術」

参加者が対等な立場で当事者意識を持ち、責任を持って関わっていきこうという「気持ち」にするところにワークショップ（WS）の意義があります。そして、効果的なWSをデザインするのがつなぐ人の力量！

場の心が1つになる**成功体験**が得られてこそ、本当に効果のあるWSと言えるのです。「とりあえずWS」ではなく、集めた意見をどう反映させるかまでデザインし、いかに適切な手法を選択することがキモ！

◆実習 FG（ファシリテータリング）の基礎演習

いよいよ実践的な練習です。ペンの持ち方を習ったら、各自で文字やアイコン・矢印を書いてみましょう。いざとなるとなかなか出てこないの、あとはひたすら書くこと！ですね *移動！*



◆実習 ハッピーテーショングーム

グループに分かれて、実際にファシリテーターとFGを交代でやってみましょう。“習うより慣れろ”ってことです。テーマ「岐阜市をブランド化するには？」

Aグループ



住んだらわかるちょうどいい街“岐阜”若者を「チョイ住み」させるプランが完成

Bグループ



「川都（せんと）ぎふプロジェクト」により子ども・よそ者に川脳（せんのう）計画

Cグループ



柳ヶ瀬は自立した大人が集うまち「きれいな女性」が似合うまち岐阜でブランド化



共感・驚愕ポイントで「いいね！」をあげます。ナイスアイデアにはこんなに！

◆編集後記◆

今回は、具体的な岐阜の事例を聞いたり、ファシリテーターやFGにチャレンジしてみたり、かなり実践的な内容でした。ヘビーだったとは思いますが、皆さんの生き生きとした表情が印象的で、今後の活躍が楽しみです♪（山吉いか）



◆ゆるやかな関係づくりゲーム「手をつないで褒めよう」◆

相手の目を見て握手して、何か1つ褒めあげば、自然と笑顔になりますね♪

◆実習「インタビューゲーム」



まずは、蒲さんより「ファシリテーター」ってどんな人？というお話。ファシリテート＝容易にする、促進する→部分的な進行で話を引き出す。大事なのは話を全力でよく聞くこと

そして、言いたいことをぐっと我慢して、場の人を信じることです。そこで「聞く」力を磨くこのゲーム。2人1組で、交互に聞き手と話し手になり、相手がどんな人か？内面に迫る質問で聞き出します。聞き出したことは、その人になりきって、他己紹介文にまとめました。思わぬ気づきはありましたか？



へえ～

今回も柳ヶ瀬のミツバチ食堂さんより届いた絶品ランチに、お腹も心も大満足です♥



交流会は、金華の古民家カフェ、コネクションズさんでお茶会♪優しい甘さの紅茶とクッキーで心も温まりましたね。



お疲れさまでした！

つなかし恒例！ランチ&交流会